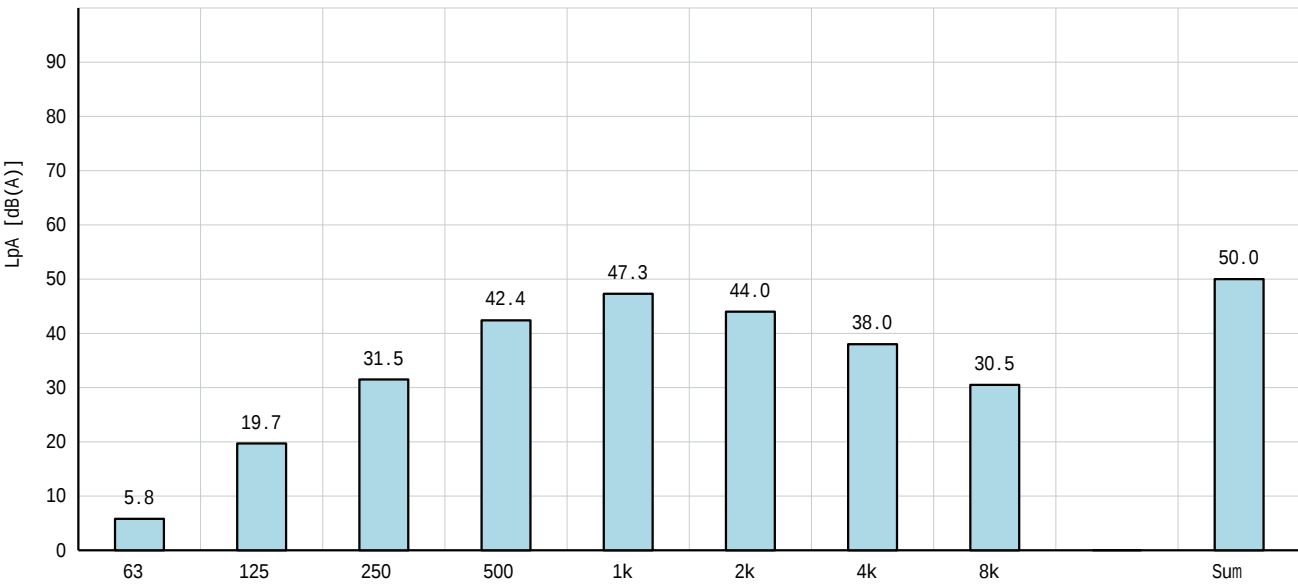


音響測定レポート			
ISO 3745			
オブジェクト:	電動機タイプ: MGE80B	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
コメント:			
音圧レベル		L_{pA} : 37.5 [dB(A)]	
音響パワーレベル		L_{WA} : 49.5 [dB(A)]	
注記:		参考:	
•音響パワー値 L_{WA} はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。		(IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)	
- 関連する不確かさ $K_{WA} = 3$ [dB(A)]		(IEC 60064-9条項8)	
- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」		(ISO 4871節B2)	
•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。		(IEC 60034条項5.2)	
- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」		(IEC 60034-9条項6、注記2)	
- さらに、IEC 60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する		(IEC 60034-9修正条項1条項7)	
•距離1 mでの等価騒音レベル L_{pA} は、ISO 11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。		(IEC 60034条項5.2)	
- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。			
- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」		(ISO 11203条項6.2.3)	

音響測定レポート			
ISO 3745			
オブジェクト:	電動機タイプ: MGE80B	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
コメント:			
音圧レベル		L_{pA} : 42.5 [dB(A)]	
音響パワーレベル		L_{WA} : 54.5 [dB(A)]	
注記:		参考:	
•音響パワー値 L_{WA} はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。		(IEC 60034-9、ISO 3745 & 4871)	
- 関連する不確かさ $K_{WA} = 3$ [dB(A)]		(IEC 60064-9条項8)	
- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」		(ISO 4871節B2)	
•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。		(IEC 60034条項5.2)	
- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」		(IEC 60034-9条項6、注記2)	
- さらに、IEC 60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する		(IEC 60034-9修正条項1条項7)	
•距離1 mでの等価騒音レベル L_{pA} は、ISO 11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。		(IEC 60034条項5.2)	
- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。			
- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」		(ISO 11203条項6.2.3)	

音響測定レポート																							
ISO 3745																							
オブジェクト:	電動機タイプ: MGE80B	定格電圧:	[V]																				
		f:	[Hz]																				
		P2:	[kW]																				
		n:	[rpm]																				
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]																				
		f:	[Hz]																				
		P2:	[kW]																				
		n:	[rpm]																				
コメント:																							
<table><tr><th>オクターブバンド [Hz]</th><th>LpA [dB(A)]</th></tr><tr><td>63</td><td>5.8</td></tr><tr><td>125</td><td>19.7</td></tr><tr><td>250</td><td>31.5</td></tr><tr><td>500</td><td>42.4</td></tr><tr><td>1k</td><td>47.3</td></tr><tr><td>2k</td><td>44.0</td></tr><tr><td>4k</td><td>38.0</td></tr><tr><td>8k</td><td>30.5</td></tr><tr><td>Sum</td><td>50.0</td></tr></table>				オクターブバンド [Hz]	LpA [dB(A)]	63	5.8	125	19.7	250	31.5	500	42.4	1k	47.3	2k	44.0	4k	38.0	8k	30.5	Sum	50.0
オクターブバンド [Hz]	LpA [dB(A)]																						
63	5.8																						
125	19.7																						
250	31.5																						
500	42.4																						
1k	47.3																						
2k	44.0																						
4k	38.0																						
8k	30.5																						
Sum	50.0																						
音圧レベル		L _{pA} : 50.0 [dB(A)]																					
音響パワーレベル		L _{WA} : 62.5 [dB(A)]																					
注記:		参考:																					
•音響パワー値L _{WA} はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。		(IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)																					
- 関連する不確かさK _{WA} = 3 [dB(A)]		(IEC 60064-9条項8)																					
- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」		(ISO 4871節B2)																					
•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。		(IEC 60034条項5.2)																					
- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。		(IEC 60034-9条項6、注記2)																					
ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」																							
- さらに、IEC		(IEC 60034-9修正条項1条項7)																					
60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する																							
•距離1 mでの等価騒音レベルL _{pA} は、ISO		(IEC 60034条項5.2)																					
11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。																							
- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。																							
- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」		(ISO 11203条項6.2.3)																					

音響測定レポート			
ISO 3745			
オブジェクト:	電動機タイプ: MGE80B	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
コメント:			
音圧レベル		L_{pA} : 54.5 [dB(A)]	
音響パワーレベル		L_{WA} : 66.5 [dB(A)]	
注記:		参考:	
•音響パワー値 L_{WA} はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。		(IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)	
- 関連する不確かさ $K_{WA} = 3$ [dB(A)]		(IEC 60064-9条項8)	
- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」		(ISO 4871節B2)	
•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。		(IEC 60034条項5.2)	
- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」		(IEC 60034-9条項6、注記2)	
- さらに、IEC 60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する		(IEC 60034-9修正条項1条項7)	
•距離1 mでの等価騒音レベル L_{pA} は、ISO 11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。		(IEC 60034条項5.2)	
- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。			
- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」		(ISO 11203条項6.2.3)	

音響測定レポート			
ISO 3745			
オブジェクト:	電動機タイプ: MGE80B	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
コメント:			
<			